

県教育庁社会教育課員  
同 県南教育事務所員

#### (4) 研修内容

- ① 講 義  
「社会教育における視聴覚教材の意義と役割」  
「社会教育における放送利用の役割」  
「VTRの特性と利用」
- ② 講義と実習  
「16ミリ映写機の構造と操作・修理」  
「フィルムの取扱いと接合」  
「OHPの特性と利用」  
「VTRの操作」
- ③ 研究協議  
「社会教育における視聴覚教材の利用について」  
「地域AVLの整備、充実と活用について」

### 10 視聴覚ライブラリー研究協議会

#### (1) 趣 旨

学校教育、社会教育における視聴覚的な学習媒体のもつ教育機能の活用は年々重視され、地域住民の視聴覚教育に対する要求も多様化・専門化している現状を正しく認識し、視聴覚ライブラリーの設備、運営の充実等について、関係者が経験、情報の交流をはかり、視聴覚教育の振興に資する。

#### (2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和56年2月26日～2月27日
- ② 会 場 会津若松市文化福祉センター
- ③ 参加者 市町村教育委員会職員、公民館職員、視聴覚ライブラリー職員、小中学校職員、視聴覚教育関係団体関係者等

#### (3) 講師、発表者、助言者

- ① 講 師  
学習研究社映像局製作部長 神 保 まつえ
- ② シンポジウム発表者  
会津若松市視聴覚ライブラリー運営委員長  
石 田 卓 史  
会津若松市共立映材社長 山 口 辰 巳  
白河市中央公民館長 鈴 木 美 男  
郡山市立第一中学校教諭 仲 村 魁
- ③ 助 言 者  
県教育庁社会教育課員  
同 会津教育事務所員

#### (4) 内 容

- ① 研究主題  
「地域視聴覚ライブラリーは、学校、公民館等教育機関や地域住民の要望にどう応えるか」
- ② 講 演  
「教育映画製作あれこれ」
- ③ シンポジウム  
「地域視聴覚ライブラリーに期待するもの」
- ④ 研究協議  
「教材の整備・充実を図るための長期計画について」  
「運営組織とその効果的な運用について」

「利用促進を図るための方策について」

### 11 東北地区社会教育放送セミナー

- (1) 今日、テレビ・ラジオは日常生活に定着し、放送を学習情報源として利用する学習活動もさかんに実践されている。このセミナーは、昭和45年より、放送メディアを社会教育の学習方法の改善や開発を図るための手段として、その利用方法等に関する研究をすすめてきた。

今回は、成人の多様化する学習要求に対応し、人びとの生活により密着し、継続される学習活動の拡充をめざす放送利用のあり方を探り、社会教育の振興に資する。

#### (2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和55年9月19日～9月20日
- ② 会 場 福島市飯坂町 あづま荘
- ③ 参 加 者  
ア 県及び市町村教育委員会の社会教育関係者  
イ 県及び市町村社会教育施設関係者  
ウ 県及び市町村農業教育関係者

#### (3) 講師、登壇者、助言者

- ① 講 師  
文部省社会教育局社会教育官 俵 谷 正 樹  
NHKシルクロード取材班  
チーフプロデューサー 田 川 純 三
- ② 登 壇 者  
岩手県東山町教育委員会主事 藤 野 正 彦  
山形県天童市中央公民館主事 星 野 治  
福島県文化センター近代文学セミナー  
半 沢 田 鶴 子  
福島市笹谷幼稚園OG会 根 本 光 恵
- ③ 助 言 者  
福島大学教育学部教授 島 田 啓 二  
宮城教育大学助教授 雪 江 美 久  
東北農政局農産普及課長 水 沼 静 一  
青森県十和田市教育委員会社会教育課長 今 純一郎  
秋田県教育庁社会教育課社会教育主事  
野 中 和 郎  
福島県農業改良課主任専門技術員 長谷川 健 一

#### (4) 内 容

- ① 研究主題  
「楽しく学ぶために放送の効果的な利用を考える」
- ② 講 演  
「最後の秘境シルクロードを取材して」
- ③ パネル・ディスカッション  
「放送利用の効果的な進め方はどうしたらよいか」
- ④ 研究協議  
ア 社会教育行政関係者部会  
「学習分野の拡がりにどう対応するか考えよう」  
イ 学習者部会  
「楽しい放送利用学習について考えよう」  
ウ 農業教育関係者部会  
「放送を生かした農業指導の方法を考えよう」